

【伴走型小規模事業者支援推進事業】 呉広域商工会 経営支援事例集③

【企業概要】

(ボン・サバ・キッチン)

事業所名：Bon Sava Kitchen (音戸地区会員)
代表者名：福岡 真衣
業種：飲食業



【支援の経緯】

2020年5月に開業するも、新型コロナウイルスの影響もあり、1日も営業できない状態が続いた。2021年11月ようやくピザ屋を開店。開店後は順調であったものの、約半年後に売上が大幅に減少する月が発生する等売上が安定しなくなり、月々の収支が崩れてきた。安定した売上を確保する取り組みが必要に感じたので、商工会へ相談があった。



【支援の成果】

経営分析や市場分析を通じて事業の現状把握を行う事で、目指すべき方向や数値を明確にする事が出来た。さらに、事業計画を策定する事で、今後の事業運営の指針となるだけでなく、経営革新計画の申請や、設備投資の資金調達や補助金申請に繋げる事が出来た。



【新市場への進出】

項目	課題	支援内容	支援結果
現状把握	既存事業の状況把握	決算書等による経営分析・商圏調査	目標売上高の設定。新市場進出の必要性を数値で確認。
新市場進出	新市場進出に伴う他社との差別化	新商品開発の提案	人用メニューだけでなく犬用ピザの開発を行う。
	新市場へ販売方法	販売方法の提案	キッチンカーでの販売。新商品PR等広報活動も兼務。宅配の無料配達ルール化。
事業計画	新事業運営における明文化	事業計画の策定支援・経営革新計画申請支援	キッチンカー事業運営における文字化。経営革新計画承認。
自己負担の軽減	投資費用を軽減したい	小規模事業者持続化補助金申請支援	2022年申請完了。申請結果待ち。

【経営指導員の声】



音戸支所の井川です。事業の運営において経営分析や市場分析、何より経営者の前向きな取組が重要です。更に活用できる補助金があれば申請する事で自己負担の軽減にも繋がります。

【企業概要】

事業所名：島の屋
(下蒲刈地区会員)
代表者名：濱下 杏奈
業種：食品製造業・飲食業

【支援の経緯】

コロナ禍で飲食事業の売上が伸び悩む中、近隣住民のギフト需要の取り込みや新商品開発によって、食品加工販売の売上拡大を図りたいという思いから商工会に相談に来られた。



【支援の成果】

SWOT分析等の現状分析の方法を知ったことで、自社の強みや弱み等を整理することができ、今後の事業運営の方向性を明確にすることができた。現状分析で書き出した項目を整理し文章に落とし込むことで、浮き彫りとなった課題に対応するため、スケジュールを立てることは、事業計画の策定、計画実現の為に必須と感じた。今回相談したことで、現状分析を行うことの必要性や重要性を再認識し、自社の経営を見直すきっかけとなった。



【事業拡大に向けた取組】

項目	課題	支援内容	支援結果
現状把握	自社の現状分析を行いたい	5W2H、SWOT分析を用いた現状分析。書き出した項目の整理支援。	現状分析の整理と把握。それを基にした事業方針の決定。
事業計画	事業運営における明文化	現状分析を基にした事業計画の策定支援	今後の事業運営方針について明文化。事業の方向性が明確となった。
資金確保	事業拡大の資金調達	小規模事業者持続化補助金申請支援	2022年申請完了。申請結果待ち。

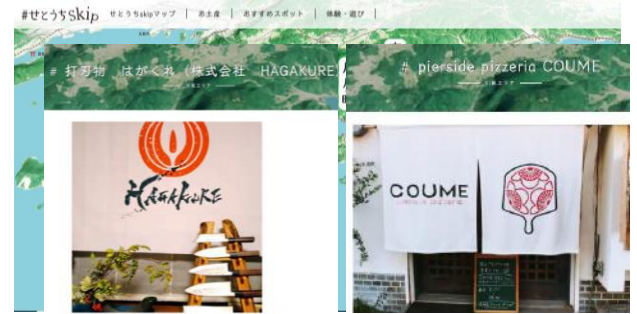
【経営指導員の声】



蒲刈支所の菊池です。事業計画の策定や資金繰りについて、アドバイス等幅広く支援を行っております。何でも気軽にお声がけ下さい。

【商工会の支援】

平成30年1月に完成した「#せとうちskip」で、グルメ、お土産、おすすめスポットなど、会員のお店をHP上で情報発信している。



【支援状況】

令和2年度・3年度に合わせて24事業者を掲載。令和4年度においても4事業者を掲載した。

【支援の内容】

掲載を希望される方の店舗情報(お店のPRポイントや営業時間等)を掲載。掲載事業者の認知度向上や集客アップを目的としており、その一環として「#せとうちskip」がRCCラジオ等でも紹介された。RCCテレビでは、GWWの体験スポットとして掲載事業者様が紹介された。

【経営指導員の声】



本所の河本です。地道な活動を通して一人でも多くの集客に繋がるよう支援させていただきます。



「せとうちskip」
サイトはコチラ→